

令和 6 年度 伊那西高校生徒と伊那市議会との 意見交換会 報告書

伊那市議会

伊那市議会では、政治や地域への若者の関心を高め、全員に投票に行ってもらふこと、議員に立候補したいと思う若者を増やすことなどを目的に、傍聴の呼びかけや意見交換を行っています。

今回は、伊那西高等学校進学コース 1 年生の公共の授業の一環として、生徒の皆さんに議会傍聴を経験していただいたうえで、後日伊那市議会との意見交換会で交流を行いました。

1. 議会傍聴

- (1) 傍聴日 令和 6 年 12 月 10 日（火）午前 10：45～正午 0：00
 (12 月定例会一般質問 1 日目)
- (2) 傍聴者数 生徒 33 人、教員 3 人
- (3) 傍聴後のアンケート結果
 - Q、質問内容・答弁は分かりやすかったですか
 分かりやすかった 22 人 あまり分からなかった 10 人
 - Q、実際のやりとりを見て、市政に関心が持てそうですか
 持てそう 29 人 持てなさそう 3 人
 - Q、傍聴にまた来たいですか
 来てみたい 26 人 あまり来たいと思わない 6 人

2. 意見交換会概要

- (1) 開催日程 令和 6 年 12 月 23 日（月）午前 10：30～11：55
- (2) 会場 伊那西高等学校 第 1 会議室
- (3) 参加者 生徒 32 人、教員 3 人、議員 20 人、議会事務局 3 人
- (4) 開催方法 グループ懇談
 12 班（1 グループ 生徒 2～3 人、議員 1～2 人）
 懇談後、まとめの全体会
- (5) 懇談テーマ 各生徒があらかじめ検討し、挙げたテーマ
- (6) その他 学校の意向で、生徒の意向によっては請願・陳情を提出したいと
 のことから、請願・陳情についての基本的なことを伝えた。

3. 生徒から挙げられたテーマ（意見交換会テーマ）

- (1) 燃料油価格激変緩和補助金終了への対策
- (2) 空き家対策の状況
- (3) ①少子化対策
②移住者への支援金の充実
- (4) 伊那新校、高校の統廃合
- (5) 道路 ①登校の坂道が暗い、不審者が出る。
②登校の道路のアスファルトが傷んでいる。
③荒井神社前のカーブ
- (6) バス ①通学時間帯バスの本数の増
②乗車人数減少の対策
- (7) 駅前商店街のシャッター通りが発展するための対策
- (8) 広報 ①制度周知等について若い世代に向けて SNS 等で分かりやすく発信をすべき
②イベントの広報が高校生に向けての周知があまりされていない。学校へのポスター掲示などが必要。

その他

- ・伊那市の病院数が少なく、特定の病院に集中し、診察を受けることができない。
- ・超高齢社会に備え、労働者負担を減らす援助の取組があるか。
- ・電車 昼の時間帯の電車の増
- ・自動車から公共交通利用への対策
- ・雪かきされる道路とされない道路があるのはなぜなのか。
- ・ごみの不法投棄対策
- ・店舗 アニメグッズを扱う店舗や、沢渡駅前にコンビニが欲しい。
- ・女性議員が少ない
- ・選挙の投票率向上のために改善すべきこと

4. 生徒から挙げられたテーマ（主なもの）に対する議員からの状況説明・アドバイス

	生徒から挙げられたテーマ	議員からの状況説明・アドバイス
(1)	燃料油価格激変緩和補助金終了への対策	伊那で、全国一ガソリン代が高い理由について伝えた。国の補助制度であり、市では燃料油価格高騰を受けての補助金交付を行ったことを伝えた。
(2)	空き家対策	空き家管理の実態について伝え、担当課から手紙で管理依頼を出しているが、所有者不明等なかなか改善されない難しいケースもあると伝えた。
(3)	①少子化対策 ②移住支援施策	人口減少対策として、様々な視点からの取組が必要であること、移住についての情報発信では全国 1 位を獲得している等の状況、移住者に対する補助金についての情報を伝えた。 高校生からも、伊那市に足りないものを教えてほしい。
(4)	伊那新校、高校の統廃合について反対の意見があるが。	各方面の会議で協議がされているので、そうした意見をまとめながら進めれば、地域にとって素晴らしい伊那新校になる。
(5)	道路について ①学校から駅までの通学路の坂道が暗い、街灯があるけれど暗いために転んでしまった、不審者が出る。 ②通学路の道路のアスファルトが傷んでいる。 ③荒井神社前のカーブ	①②議員自身でも状況を確認したい。地区へ要望を伝えて地区から要望を上げてもらうのが良い。 ③以前から要望のある箇所だが、道幅がさらに狭くなる等の状況があり、改善が難しい状況がある。
(6)	バス ①通学時間帯のバスの本数増 ②乗車人数減少の対策	バスを 1 本増やすことは大変なこと。バス以外の各種タクシー等を含めて検討できるとよいが、課題が多いことを伝えた。
(7)	駅前商店街のシャッター通りが発展するための対策 高校生とのコラボイベントをしているが単発で終わっている。映える場所、イルミネーションなどの提案があった。	市において、まちづくりについて市民の意見を聴き検討する会を立ち上げている。 議会では、まちづくり課題検討特別委員会でまちづくりの検討を行っている。

(8)	広報 制度周知やイベント案内について ①若い世代に向けて SNS 発信や ②学校へのポスター掲示等で 分かりやすく発信をすべき	若い世代への情報発信が市全体での課題と捉えた。 伊那市議会では、Instagram・Facebook での発信、YouTube 動画の配信を行っている。
-----	--	--

5. 生徒からの感想

- ・知らないことをたくさん教えていただけてとても良い機会となった。
- ・それぞれの課題には難しい現状があることを知った。
- ・私たちが今回取り上げた問題の多くは、一つの問題ではなく多くの問題が課題となっており、簡単に解決できないことも知ることができた。
- ・自分が出した意見が甘かったと感じた。下調べをきちんとすべきだった。
- ・通学路の整備については学校側から地区に対して依頼をするという手順を初めて知った。
- ・バス交通について、デジタルタクシーやぐるっとタクシーという制度があること、バスの路線は簡単に増やせないことを知った。また、デジタルタクシーやぐるっとタクシーを現在の利用者を拡大して、高校生が使えるように変えるのはどうだろうかという意見が出て、貴重な体験をした。
- ・住民側と議員側の意見や考え方を共有して、初めて知ったことも多くあったので、貴重な経験となった。
- ・意見交換会を開く前では、議会は堅苦しく難しい話が多いのかと思っていたけれど、議員は伊那市の現状の課題の対策について真剣に考えて活動していた。
- ・伊那市についてより深く知ることができて良かった。
- ・今回の意見交換会を通して、自分の住んでいる所の近くには、どんな問題・課題があるのかを改めて考えてみたいと思った。
- ・議会の方々が分かりやすく話しかけていただいたおかげで、楽しく意見を交換することができた。
- ・一人ひとりが請願する権利があることを知った。自分たちが住んでいる地域の役に立ちたいという思いを持って請願できるということを忘れず、これから過ごしていきたい。
- ・傍聴については、分かりやすい質問と、用語が難しく分かりにくいものがあった。市長答弁でスラスラ答えており驚いた。

6. 議員からの感想

班・議員名	感想
1 班 田畑正敏議長 伊藤のり子議員	・日頃感じている疑問や課題をまとめてくれていた。それに対するアドバイスが伝えられたことは良かった。 ・素直な生徒さんたちで、打てば響く感じがとても良かった。
2 班 二瓶裕史副議長	・話が盛り上がり、若い世代との交流ができ、よい機会だった。 ・あまり事前学習をしていないとのことだったので、テーマについても、記載されていたこと以上の要望や問題意識がないように見受けられた。先生からもあまり陳情の説明を受けていないようであった。
3 班 柳川広美議員	・生徒が、はきはきと意見を伝えてくれる様子に感心した。 ・色々な意見を言ってくれたのがおもしろかった。
4 班 高橋姿議員 白鳥敏明議員	・生徒による事前のテーマ設定は、高校生が政治に興味を持つ良いきっかけになったと思う。 ・高校 1 年生でも事前に調査し研究して、テーマ選定を行っていた様子がうかがえ、しっかりしていると感じた。
5 班 吉田浩之議員	・生徒は自分で考えをまとめてきており、活発な意見が出て、有意義な時間だった。
6 班 小林眞由美議員 高橋明星議員	・昨年も今年も出ている内容については、同じ課題が出ているという点で、改善されていないわけなので、必要なものについては、ただ意見を聞くだけでなく、応える必要があると感じた。
7 班 原一馬議員 池上謙議員	イベント情報を SNS で発信して欲しいと言う要望が多くあった。 伊那市のイベント情報は、毎週木曜日の夕方 6 時に、安心安全メールで情報発信していますと答えたので、完結と思っていたが、後で考えると、伊那市に在住していない高校生もいたことに気付いた。申し訳なかった。
8 班 三澤俊明議員 唐木拓議員	・生徒が物事に関する問題意識を高く持っていて良かった。 ・対話を通して、物事には原因があること、なかなか解決は難しいことがあることを理解していただけたと感じた。 ・生徒が地域のことを考えるきっかけとなり、今後の人生にも役に立つと感じた。 ・今回、少人数で、それぞれ深い話ができて良かった。
9 班 宮原英幸議員	・生徒は問題意識を持っており、想像していたよりもはきはきしていた。 ・1 年生なのでまだこれからというところだったかと思う。請願・陳情という観点、生徒にとって重かったのではないかな。

10 班 野口輝雄議員 篠塚みどり議員	・高校生の率直な意見や身近な要望(交通手段、街灯がなくて困るなど)一緒に考え、どうしたら良いか話す事が出来て良かった。 ・駅前のシャッター通りや高校生とのコラボなど、まちづくりの発展にこれからも気になる事など、語り合い良いまちづくりに繋げて行きたいと感じた。
11 班 唐澤千明議員 湯澤武議員	・生徒それぞれ個性を生かしての学校生活の様子と将来の夢を語ってくれ、投棄ゴミ対策など、自分の意見をはっきり伝えてくれた。 ・通学路の補修や防犯灯の増設について意見をいただいたので、後日区長や学校、市の管理課とも話しができ、進展が望めそうである。
12 班 飯島光豊議員 三石佳代議員	・授業の一環という限られた時間で政治課題を的確に捉えており、会話からも生徒の感性の豊かさが伝わってきた。素直で率直な意見を伺い大変勉強になった。 ・思いがけず留学生とも対話の時間をいただき、文化や教育、生活環境の違いや日本への関心などについて聞くことができた。有意義な交流でありがたかった。



議会傍聴 令和6年12月10日

意見交換会 令和6年12月23日



グループ懇談

グループ懇談



全体会 感想発表

